

第1回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会会議録（概要）

開催日時 平成23年6月1日（水）午後2時30分から3時20分

場 所 長野市役所第二庁舎 10階 会議室18

出席委員 岡野会長・小野委員・小出委員・小林委員・坂本委員・島田委員・
白澤委員・竹内委員・塚田委員・西澤委員・原田委員・平栗委員・
松本委員・宮川委員（以上14名）

出席事務局職員

寺田保健福祉部長（冒頭あいさつ）

【保育家庭支援課】

金子課長・竹村課長補佐・中澤課長補佐・小林保育指導員・
酒井係長・宮下係長・笠井係長・市村主査

【生涯学習課】

久野室長

- 1 開 会
- 2 保健福祉部長あいさつ
- 3 委員委嘱・紹介
- 4 職員紹介
- 5 正副会長の選出
岡野委員が会長、海野委員が副会長と決定
- 6 議 事
(1) 平成24年度長野市の保育所保育料について
<資料1により事務局説明>

（質疑応答）

委 員： 国の方針は現時点で示されていないということがあるが、保育料を上げざるを得ないのであれば、現在の16階層となっている保育料の階層区分、例えばD7からD9を更に細分化するなど、階層区分が変わることで保育料が急激に上がってしまうことを緩和する検討をしても良いのではないかと考える。

国は階層区分が8階層であるが、東京などの都市部では更なる細分化をしている。

長野市も人口の多い都市部を参考にしたらどうかと考える。

事務局： 国で階層区分の見直しをするのであれば、あわせて本市も対応いたしますが、現時点で、本市単独で階層区分を見直し、細分化する

などという考えはありません。

会 長： 先程の事務局の議事の説明のとおり、国の基準に比べると、長野市の保育料はかなり軽減されておりますので、国の税制改正、扶養控除見直しにより、税金が増えるので、そのままの基準額表のままであれば、保育料が上がってしまうので、その見直しがあるということですね。

事務局： 税制改正の実施は昨年ですので、国も各府省で、区分の見直しや読み替え規定など、制度に見合った方法で検討していると聞いております。

国の次年度の予算が明らかになる年末くらいに、市へもその検討結果が示されると思われれます。

本市としても国から示された検討結果に基づき、保育料の負担が増減しないような基準額表などの原案を作成し、委員の皆様にお諮りしたいと考えております。

会 長： よろしいでしょうか。

(2) その他

事務局から次回児童福祉専門分科会開催予定（国の保育料基準額が示された以降に開催）を説明

委 員： 国から保育料基準額案が示されるまで児童福祉専門分科会は開催されないのか。また、開催された場合は、事務局が作成した保育料基準額表案を承認するということが。

事務局： 現時点では、保育料が増減しないようにしたいと考えているが、分科会の審議の中で、保育料改正の議論、意見があれば伺い、実現できるものがあれば実現したいと考えますが、保育料全般の見直しをするということについては、児童福祉専門分科会1、2回で議論を尽し、見直しが出来るとは考えておりません。

現時点では、現在の保育料と負担が変わらないようにすることが最善であると考えております。

7 閉 会